校長だより　向日葵　　７月２７日　廣渡一郎

◆◇◆個人面談◆◇◆

■一昨日から本日までの三日間，
個人面談を行いました。
時間をつくって学校においでいただいた
保護者の皆様，有難うございます。
面談では，前期の中間評価となる
学習状況資料をお渡しするとともに，
担任から学習や生活のようすについて
話をさせていただきました。

■二学期制のよさの一つ。
それは，通知表「そだち」をお渡しする
までの期間が長いこと。つまり，子どもが「よくできる」「できる」ようになるまで
関わり，指導する期間が夏休みをはさんでたっぷりあるということです。
ただし。
これが本当によさとして活きるためには，
担任と保護者の皆さまとのあいだで
指導の「バトン」がしっかりつながることが大切です。

■面談は担任から保護者の皆さまへのバトンパス。
バトンを受けていただいた保護者の皆さま，担任の言葉や資料のなかみを心に留め，
お子様に声をかけ，見守り，励ましていただけると幸いです。
長い休みが明けてから，保護者の皆さまからのバトンをふたたび受けた担任は，
子どもに寄り添い，働きかけを続けます。
一人一人の子どもの「そだち」につながるよう。「そだち」具合をみんなで確かめ，
喜び合えるよう。これからもどうぞよろしくお願いします。